科目名	精神看護学実習Ⅴ Psychiatric and Mental Health Nursing Practice Ⅴ	担当教員 (研究室番号)	未定	教員への連絡方法 (メールアドレス)	未定

履修年次	2年次 前期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数 (時間)	1(30)	授業形態	実習	科目等履修生	否
										遠隔授業	全部

科目目的		本科目は、コンサルテーション・コーディネーションについて、精神看護専門看護師と指導教員によるスーパーバイズのもと、精神看護専門看護師の機能と役割（相談・調整・倫理調整・教育・研究）を実践する能力を養うことを目的とする。 なお本科目は、日本看護系大学協議会が定める高度実践看護師教育課程基準（実習科目）「医療施設または地域におけるコンサルテーション・コーディネーション実習」に相当する科目である。
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	7．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。
	関連するDP	2．豊かな人間性と倫理観を身につけ、看護専門職としてリーダー的役割が担える指導力やマネジメント力を身につけている。
到達目標		1) 既習のコンサルテーション理論やモデルを活用し、個人では対応が困難な精神保健看護上の問題を抱える事例のアセスメントと看護援助について考察することができる。 2) 精神科の臨床現場における課題やニーズに対して、専門看護師の機能・役割を総合的に用いた介入を行うことができる。 3) 複雑な問題を抱えた患者や家族を支援すると同時に、看護師個人、看護チーム、多職種チーム、組織全体に対しても精神看護専門看護師の機能と役割（相談・調整・倫理調整・教育・研究）を実践することができる。

成績評価方法 (基準)	・行動目標に沿って、専門看護師としての基礎的な実践能力の修得を『精神看護学実習評価表』を用いて評価する。 ・事前学習、実習内容、カンファレンスでのディスカッション、実習出席状況、実習記録、実習後の課題レポート、自己評価、実習成果報告会、実習施設の指導者からのコメントを含めて総合的に評価する。
教科書	随時紹介する。
参考書等	随時紹介する。
受講者へのメッセージ	高度な臨床判断や実践能力を体得するのはもちろん、それらの高度実践に関する根拠や意図を、他者が理解できるレベルで説明することができるよう意識して実習に臨んでください。
備考	

学　習　内　容

※実習内容の詳細は「精神看護学実習Ⅴ 実習要項」を参照のこと

1）実習期間
「医療施設または地域におけるコンサルテーション・コーディネーション実習」として、30時間を基本とした実習を行う。

2）実習施設
・ハートランドしぎさん（住所：奈良県生駒郡三郷町勢野北4-13-1、電話：0745-72-5006）
・伊勢赤十字病院　　（住所：三重県伊勢市船江1丁目471-2、電話：0596-28-2171）

3）事前学習
・これまでの講義と演習で修得した内容を統合し、事前レポート、実習計画書、実習記録類一式を作成する。
・実習計画書の作成にあたっては、実習施設との調整を主体的に行う。
・実習記録類の作成にあたっては、指導教員および実習指導者のスーパービジョンを受ける。

4）実習内容
・医療施設または地域におけるコンサルテーション・コーディネーション
複雑な問題を抱えた患者や家族を支援する（精神看護学実習Ⅲ）と同時に、看護師個人、看護チーム、多職種チーム、組織全体に対しても
精神看護専門看護師の機能と役割（相談・調整・倫理調整・教育・研究）を実践する。

5）実習の進行
・実習要項を参照